

【報告事項1】 2024年度 事業報告の件

## 2024年度 事業報告

（ 自 2024年4月 1日  
至 2025年3月31日 ）

公益財団法人 ENEOS 東燃ゼネラル研究奨励・奨学会

## 事業報告

〔 自 2024年 4月 1日  
至 2025年 3月 31日 〕

### I 法人の概況

1. 設立年月日： 昭和32年（1957年）11月27日
2. 定款に定める目的：  
この法人は、大学理工系の学部学生・大学院生に対し奨学援護を行うとともに、若手研究者の科学技術に関する研究開発の奨励及び助成を行うことにより、わが国の工業の発展と産業における生産技術の振興を図ることを目的とする。
3. 定款に定める事業：
  - (1) 奨学金の給与
  - (2) 奨学資金を受ける学部学生・大学院生の指導
  - (3) 科学技術に関する研究開発の奨励
  - (4) 科学技術に関する調査研究の助成
  - (5) 科学技術の研究の成果の普及に関する助成
  - (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
4. 所管行政庁に関する事項： 内閣府
5. 主たる事務所の状況（2025年3月31日現在）： 東京都中央区日本橋茅場町
6. 役員及び評議員に関する事項（2025年3月31日現在）

#### <役員>

役 職	勤務形態	氏 名	経 歴
理 事 長	非常勤	伊藤 陽二	元東燃ゼネラル石油(株) プロジェクトエグゼクティブ
常務理事	同	上野 清和	元東燃ゼネラル石油(株) プランニングエグゼクティブ
同	同	神谷 知宏	元東燃ゼネラル石油(株) 執行役員 小売統括部長
理 事	同	越 光男	東京大学 名誉教授
同	同	長島 昭	慶應義塾大学 名誉教授
同	同	斎藤 彬夫	東京科学大学 名誉教授
同	同	小久見善八	京都大学 産官学連携本部 特任教授、京都大学 名誉教授
同	同	西出 宏之	早稲田大学 理工学術院総合研究所 招聘研究教授 早稲田大学 名誉教授
同	同	武藤 潤	元東燃ゼネラル石油(株)社長、鹿島石油(株)代表取締役社長
監 事	同	高月 邦彦	元東燃ゼネラル石油(株) 企画管理室グループマネージャー/ 翻訳家
同	同	佐々木英明	元東燃ゼネラル石油(株) 執行役員人事担当
同	同	柏倉 周郎	元ゼネラル石油(株) 経理部、(株)エディア 社外取締役

#### <評議員>

氏 名	経 歴
國武 豊喜	九州大学高等研究院 特別主幹教授、九州大学 名誉教授
朝倉 祝治	横浜国立大学 名誉教授
大倉 一郎	東京科学大学 名誉教授
戸部 義人	大阪大学 産業科学研究所 産業科学ナノテクノロジーセンター 招聘教授 大阪大学 名誉教授、国立陽明交通大學 講座教授(台湾)
大聖 泰弘	早稲田大学研究院 次世代自動車研究機構 研究所顧問、早稲田大学 名誉教授
滝澤 博胤	東北大学 理事・副学長、教授
松下 秀司	元ゼネラル石油(株) 企画財務部長
五十嵐康之	元ゼネラル石油(株) プロジェクトエグゼクティブ
檜原 雄一	元ゼネラル石油(株) 取締役営業副本部長

7. 職員に関する事項： 男性2名(勤続年数4年0ヵ月/6ヶ月)、女性1名(同13年10ヵ月)  
8. 許認可に関する事項： 該当事項はありません。

## II 事業の概況

### 1. 事業活動

財団は当事業年度において次のような活動を行いました。

奨学金給付事業においては、計画通り50名を一般奨学生として採用しました。内訳は、新規生が16名(計画16名)、継続生は34名(計画34名)となりました。その内、1名が9月に大学院修士課程修了、1名が就職のために9月末の中途退学となったため、10月から新たに2名の補充採用を決定し、下期奨学生として給付を実施しました。

今年度の博士後期課程進学者支援給付制度においては、博士課程在学者4名(年度予算4名分計上)を採用しましたが、うち3名は、その後公的支援制度の適用が決定したため、6月を以て奨学金の給付を終了しました。以上の結果、最終的に通年受給者48名、上期または下期受給3名、および短期間受給4名に博士課程支援対象者1名を含む、延べ56名の奨学生に対して一人当たり年間48万円(一部奨学生はその一部のみ給付)、総額2,472万円を給付しました。

月例会活動については、各地区毎の対面での月次会合の開催に加え、財団ホームページ(HP)上に追加開設した奨学生間Webサイト「奨学生のひろば」の運用などを通じ奨学生間の相互交流や学業支援を維持することができました。

研究助成金給付事業については、応募実績は前年度の31件から43件と大きく増加しました。厳正な1次・2次選考を経て合計24件の優秀な提案を選考し、総額2,850万円の研究助成金を給付しました。

近年の応募数減少に歯止めを掛けるべく財団選考委員や大学関係者からの提案や要望を受け、新たに4大学を推薦大学に加え、また応募方法の改善、応募期間の延長などを計った結果、応募数が増加したものと考えています。今後も引き続き応募者により分かり易い申請手続きと、公平・公正な評価・審査プロセスの改善を図りつつ応募者の拡大に努めてまいります。

今年度は、全国からの参加を伴う財団内会議や研究助成金贈呈式と卒業奨学生送別会は1年を通し従来型の対面で開催することができ、概ね年度計画どおりの公益事業活動を実行することができました。また、時間に制約がある関係者においても参加が可能となるよう会議形式として対面・Web併用を継続し、多くの参加を得ました。更に、奨学生相互交流Webサイトの「奨学生のひろば」に卒業奨学生の参加・意見投稿を呼び掛けるなど、対面・Web双方の利点を掛け合わせた活動を幅広く実施し、当財団の価値向上に努めています。引き続き、奨学生および財団関係者に加え、大学窓口への対面訪問を通じた現場からの提言・課題の吸収、新たな対応や種々の工夫への取り組みを実施し、奨学生および若手研究者に対する価値ある支援をすすめてまいります。

財団では将来にわたる公益事業の安定化のため2018年度より毎年概ね6百万円を公益事業運営積立金として積み立て、今年度末にはその残高が4千万円強となりました。基本財産として保有するENEOS株が今年度から増配となったこと、同株式を利用する貸株取引を開始したこと、その他債券資産の運用益増等もあったことから、この積立金の取崩しや活用について検討いたしました。検討の結果、収入側の不確定要素を考慮しても、積立金の取崩しにより少なくとも向こう3年間は現公益事業の事業費拡大が可能と判断されました。この検討結果は理事会で審議され、2025年度より両事業の拡張を実施に移すことが承認されました。それらに加え、2027年11月に迎える財団設立70周年を記念する事業費用に充当することを想定しております。

財団の運営面では、一部の理事、監事、選考委員の交代に加え、事務局体制の強化のため下期より事務局員1名を増員しました。2025年6月末には定年延長事務員1名の退職が見込まれて

おりますが、これにより勤務体制と分担役割の明確化を行い円滑かつ効率的な業務引継ぎを実現してまいります。更にこの機会を利用し、事業区分に見合う会計処理や定型作業・報告等の簡素化やIT化も進めてまいります。

なお、東燃ゼネラル石油株式会社との会社統合後8年となるENEOS株式会社とは、財団窓口である総務部門および中央技術研究所から経済的また人的支援をいただいております。これらの関係維持・強化を図るために引き続き積極的な交流に努めています。

また、当財団の所管行政庁である内閣府関連では、財団財務の健全性維持の観点から、収益および費用配賦の方法などについて鋭意協議を実施しています。更に、本年4月からの改定認定法の施行への対応を図るとともに、当財団への2020年11月内閣府立入検査時の指摘事項である規程・基準類の制定・改定をすべて完了しており、公益財団法人としての信頼性の高い運営を維持するよう引き続きガバナンスの維持・強化に努めつつ、公益事業活動の拡充を図ってまいります。

各事業の活動経過及び成果は次のとおりです。

(1) 奨学事業（第67期）：

- 1 奨学生数： 一般奨学生50名採用後、欠員補充2名に対し10月から給付を実施しました。なお、博士後期課程進学者支援給付は、期中に公的支援受給が決定した3名には、6月を以て給付を終了しました。  
当事業年度末に30名の奨学生が卒業して社会に巣立った結果、当財団創立以来の累計卒業奨学生は1,097名となりました。

指定大学別・大学院生別・学部学生別内訳 (2025年3月31日現在)

	北大	東北大	東大	東科大	横国大	早大	慶大	名大	名工大	京大	大阪大	九大	計
大学院生	2	4	4	5	4	3	3	1	3	5	4	5	43
学部学生	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	7
一般計	3	5	5	5	4	4	4	2	3	5	5	5	50

博士後期	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 2 奨学給付額： 月額 4万円/1人 (年間 48万円)

3 主要な活動状況：

- 2024年2月20日 指定大学9校に新規奨学生候補者16名の推薦依頼  
同 4月22日 推薦応募申請提出締切り  
同 6月5日 選考委員会による最終選考  
同 6月5日 理事会による奨学生採用議案の承認  
2024年6月～2025年2月 各地区月例会開催  
+各地区毎に対面での月例会開催・奨学金手渡しを実施  
+現役奨学生交流サイト「奨学生のひろば」による投稿促進、意見交換を実施  
2025年2月28日 奨学生送別会 (2023年度に卒業した奨学生を特別招待)

- \* 昨年度実施した複数地区合同月例会の開催は今年度見送りとし、奨学生間の研究発表・意見交換と親睦・交流、Web交流サイトでの現役奨学生間交流を実施しました。

(2) 研究助成事業 (第44期) :

1 応募実績 (カッコ内は前年度実績)

- ・ 大学校数: 19校(13校)・・・指定大学11校(8校)推薦大学8校(5校)
- ・ 応募案件: 43件(31件)・・・指定大学30件(21件)推薦大学13件(10件)

2 研究助成金受賞者数及び総額

- ・ 対象者: 24名/12大学 (前年度 24名/12大学)
- ・ 助成金総額: 2,850万円 (前年度 2,690万円)

この結果、当財団創立以来の研究助成累計は延べ761件、約8億円となりました。

3 主要な活動状況:

2024年 5月24日 指定大学14校及び推薦大学15校に研究助成金募集依頼

同 9月12日 応募申請提出締切り

同 9月13日～9月24日 第1次選考作業を実施

同 9月26日 第1次選考審査結果決定

同 10月9日～11月15日 第2次選考作業を実施

同 11月22日 第2次選考審査会議

同 12月13日 選考委員会による最終選考

同 12月13日 理事会による研究助成案件選考議案の承認

2025年 2月14日 第44回研究助成金贈呈式開催

同 3月6日 受賞研究者(指定口座)への研究奨励助成金(寄附金)の振込給付

2. 資金調達及び設備投資の状況

2024年度中における借入れ及び重要な設備投資並びに重要な施設の除却又は売却はありません。

3. 重要な契約の締結

当財団の基本財産であるENEOSホールディングス株式会社の株(1,542,237株)のうち1,542,200株について貸株取引を開始すべく、みずほ証券と2025年1月27日付で「株券貸借取引に関する基本契約」及び付帯契約を締結した。

4. 届出及び理事会等会議に関する事項

(1) 申請、届出事項等

2024年6月28日 2023年度事業報告および計算書類等を内閣府に提出

2024年7月4日 6月21日開催の定時評議員会における退任理事1名・新任理事2名、退任監事1名・新任監事1名に伴う法人登記を完了

2025年3月21日 2025年度事業計画及び収支予算書等を内閣府に提出

(2) 会議等開催状況

<評議員会>

会議とその開催日	議案・報告事項	審議結果
<p>定時評議員会 2024年6月21日 (ザ・プリンスさくらタワー 東京) (対面とWEB会議の併用)</p>	<p>決議事項： 1) 2023年度 計算書類並びに財産目録承認の件 2) 理事・監事の退任及び新任理事・監事選出に伴う 理事・監事選任の件</p> <p>報告事項： 1) 2023年度 事業報告の件 2) 資産運用状況の件 (1) 2023年度資産運用報告(実績ベース) (2) 2024年度資産運用執行方針及び計画 3) 2024年度 奨学生(新規生・継続生・博士後期 課程)採用の件 4) 2024年度 研究助成募集の件</p>	<p>承認 承認</p> <p>了承 了承</p> <p>了承</p> <p>了承</p>
<p>臨時評議員会 2024年12月23日 (書面決議)</p>	<p>決議事項： 1) 財団保有の ENEOS 株式を貸株取引に資する件</p>	<p>承認</p>

<理事会>

<p>第1回理事会 2024年6月5日 (ザ・プリンスさくらタワー 東京) (対面とWEB会議の併用)</p>	<p>決議事項： 1) 2023年度 事業報告及び計算書類並びに財産 目録承認の件 2) 2024年度 奨学生(新規生・継続生・博士後期 課程) 採用の件 3) 定時評議員会に提出する理事及び監事候補者の件 4) 常務理事(業務執行理事) 1名追加選定の件 5) 研究助成金対象者選考委員委嘱の件 6) 定時評議員会の招集及び付議事項に関する件</p> <p>報告事項 1) 2023年度 資産運用状況 (実績ベース) につ いて 2) 理事長及び常務理事の職務執行状況について (2024年2月~2024年5月)</p>	<p>承認</p> <p>承認</p> <p>承認 承認 承認 承認</p> <p>了承</p> <p>了承</p>
<p>第2回理事会 2024年11月2日 (書面決議)</p>	<p>決議事項： 1) 奨学生の欠員補充採用の件</p>	<p>承認</p>

<p>第3回理事会 2024年12月13日 (ザ・プリンスさくらタワー 東京) (対面とWEB会議の併用)</p>	<p>決議事項： 1) 第44回(2024年度)研究助成案件の選考及び助成金額の件 2) 事務局職員の雇用契約再延長の件 3) ENEOS ホールディング株の貸株取引の件</p> <p>報告事項： 1) 資産運用状況と収支見通しについて 2) 公益事業運営積立金取扱検討の中間報告について 3) 理事長及び常務理事の職務執行状況について (2024年6月～2024年11月)</p>	<p>承認  承認 承認</p> <p>了承 了承 了承</p>
<p>第4回理事会 2025年2月14日 (ザ・プリンスさくらタワー 東京) (対面とWEB会議の併用)</p>	<p>決議事項： 1) 2024年度 決算方針の件 (1) 重要な会計方針 (2) 指定正味財産の積立・取崩 2) 2025年度 事業計画及び収支予算等の件 (1) 事業計画 (2) 収支予算 (3) 資金調達計画及び設備投資計画 (4) 資産運用執行方針及び計画 3) 2025年度 奨学生募集の件 4) 奨学金給付規程の一部改定の件 5) 2025年度 研究助成募集の件 6) 旅費規程の一部改定の件</p> <p>報告事項： 1) 公益事業運営積立金取扱検討について 2) 理事長及び常務理事の職務執行状況について (2024年12月～2025年1月)</p>	<p>承認  承認</p> <p>承認 承認 承認 承認</p> <p>了承 了承</p>

<選考委員会>

<p>奨学生選考委員会 2024年6月5日 (ザ・プリンスさくらタワー東京) (対面とWEB会議の併用)</p>	<p>決議事項： 1) 2024年度 奨学生(新規生・継続生・博士後期課程) 採用の件</p>	<p>承認</p>
<p>臨時奨学生選考委員会 2024年10月28日 (書面決議)</p>	<p>決議事項： 1) 2024年度下期奨学生欠員補充採用2名の件</p>	<p>承認</p>
<p>研究助成対象者選考委員会 2024年12月13日 (ザ・プリンスさくらタワー東京) (対面とWEB会議の併用)</p>	<p>決議事項： 1) 第44回(2024年度)研究助成案件の選考及び助成金額承認の件 2) 第45回(2025年度)研究所募集の件</p> <p>報告事項： 1) 「研究助成対象者選考の基準」改定について</p>	<p>承認  承認</p> <p>了承</p>

5. 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移

(単位：万円)

事業年度	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
経常収益	7,181	7,275	7,261	7,640	8,676
経常費用	7,484	7,247	8,755	8,524	8,789
〔評価損益等調整前〕 当期経常増減額	-303	28	-1,494	-884	-113
評価損益等	5,508	3,273	1,825	9,119	-787
当期経常増減額	5,205	3,301	331	8,235	-900
資産合計	103,213	106,694	107,746	116,888	116,534
正味財産合計	102,523	106,425	107,403	116,307	116,007

III 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実 (後発事象)

該当事項はありません。

IV 事業報告の附属明細書

2024年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

以上